

第3回北海道地域リハビリテーション

広域支援センター連絡会報告

北海道リハビリテーション支援センター

加藤正巳

第3回広域支援センター連絡会

目的

平成16年度に設立された5圏域の補助金が来年度で終了となるため、補助金終了後の活動の方向性について議論すること。

方法

5圏域に再来年度以降の活動についてのアンケート調査をあらかじめ実施し、それに基づいて議論を行った。

第3回広域支援センター連絡会

参加者

各広域支援センターの事務局から2-3名、各担当保健所から1名、北海道リハ支援センターから11名。

日時

平成19年11月1日 13時30分より17時まで。

場所

札幌医科大学基礎医学研究棟5階

アンケート項目

1. 広域支援センター活動は有意義か?
2. 補助金終了後に活動を継続するか?
3. 今後の活動の中心となる事業は?
4. 会費徴収の予定、民間病院からの支援の可能性?
5. 会費徴収しても継続する意義は持たせられるか?
6. 保健所に期待する役割は?
7. 市町村に期待する役割は?
8. 地域包括支援センターとの連携は?

第3回広域支援センター連絡会

アンケートへの回答

1. 広域支援センター活動は有意義か？

- ・全圏域ともに有意義と回答。
- ・圏域内の関連職種間のコミュニケーションが促進した。
- ・研修会を通して、リハ支援技術が向上した。
- ・地域における将来のリハの方向性が見えてきた。

2. 補助金終了後に活動を継続するか？

- ・「継続」が2圏域、「わからない」が3圏域。

第3回広域支援センター連絡会

アンケートへの回答

4. 会費徴収の予定、民間病院からの支援の可能性?

- ・会費徴収を考えているのは1圏域のみ、他圏域は未定。
- ・民間病院からの支援についても同じ結果。

5. 会費徴収しても継続する意義を持たせられるか?

- ・「持たせられる」が2圏域、「わからない」が3圏域。

第3回広域支援センター連絡会

アンケートへの回答

6. 保健所に期待する役割は？

- ・医師会・歯科医師会の参画をもっと促して欲しい。
- ・情報提供などのバックアップ。
- ・施設間の連携構築についてのコーディネータ。
- ・印刷・発送などの事務的な作業。
- ・運営の助言、企画をともに行う。
- ・補助金が多いうちから関わってもらえれば、迷いは少なかったと思う。

第3回広域支援センター連絡会

アンケートへの回答

7. 市町村に期待する役割は？

- ・ネットワーク作り。
- ・資金面の支援。
- ・研修会の支援。
- ・各市町村のニーズ把握。
- ・地域リハ＝市町村であると思うし、啓蒙活動、草の根活動の支援を広域が担えたらと思う。
- ・地域に暮らす人たちと推進会議との連携に協力していただきたい。

第3回広域支援センター連絡会

フリーディスカッションでの意見

広域支援センターより(来年度以降の活動について)

- ・ワーキンググループで地域分析、事業分析、運営資金の試算など行い、総会に提出したい。
- ・継続を望む声は多いが、各参加団体からの協力が得られていない。
- ・アンケートでは継続希望が大半で、推進会議としても継続の方向。
- ・会議などの交通費もかなりかかるため、やる気だけでは会として成り立たなくなる。

第3回広域支援センター連絡会

フリーディスカッションでの意見

広域支援センターより(活動資金について)

- ・会費を徴収して継続する方向ではあるが、借金が出る可能性などのリスクが高いと感じている。
- ・研修会で収入を得るためには、研修内容が人気のあるものに絞られてくるのではないか。
- ・研修会を年3回くらい、参加費500円くらいで検討中、医師会からは5万円くらいなら出せると思う、と言われた。
- ・市町村の事業として、リハ事業を行うことを提案したが、無理との返事であった。

第3回広域支援センター連絡会

フリーディスカッションでの意見

広域支援センターより(連携・ネットワークについて)

- ・包括支援センターのスタッフに、運営委員に参加してもらっているが、連携をとるまでには至っていない。
- ・圏域内の各地域でタウンミーティングを行い、各地域の現状を把握し、その中でニーズを出し合って、ネットワーク作りをしていきたい。
- ・市町村の特養やデイサービスとどのように連携していけるかについて、意見交換を行っていきたい。
- ・保健師にも参加してもらって懇談会を行ったが、なかなかコミュニケーションがとれなかった。

第3回広域支援センター連絡会

フリーディスカッションでの意見

広域支援センターより(道支援センターへの要望)

- ・研修会の講師紹介と謝礼援助。
- ・運営費の補助をお願いしたい。
- ・補助金終了圏域の活動について、定期的に情報を流して欲しい。
- ・市町村への啓蒙をして欲しい。
- ・各圏域の事情は異なるが、今年一年のテーマを出してもらいたい。

第3回広域支援センター連絡会

フリーディスカッションでの意見

広域支援センターより(その他)

- ・広域支援センター活動が、地域連携パスなどにつながっていない。
- ・各協力病院や協力団体はちゃんとやりたいと考えていると思うが、強い動機を全体として持つことが難しいと思う。
- ・自分たちの本来の仕事にも役立つようなメリットがあるような状態で活動していけば、継続の賛同が得られると思う。病院自体のメリットというより、働く人のメリットがあればよいと思う。
- ・保健師にも参加してもらって懇談会を行ったが、なかなかコミュニケーションがとれなかった。

第3回広域支援センター連絡会

フリーディスカッションでの意見

保健所より

- ・保健所が参画するように要綱が改正されたが、リハ職がいなく、部門に保健師が配置されておらず、何ができるかわからない。
- ・本庁に対して、予算の支援を要求したい。支庁内の他の保健所とも連携を図りつつ支援していきたい。
- ・保健福祉事務所として横断的な連携を図りつつ、支援体制を組むことを検討している。
- ・地域で研修を受ける機会が少ないので、広域センターの研修会は感謝されていると感じている。

第3回広域支援センター連絡会

フリーディスカッションでの意見 道支援センターより

- ・補助金終了となった圏域は、研修会を減らし、研修会の内容が地域連携へシフトしている。
- ・地域連携を深めることと、地域のリハの知識・技術を高めることが2本柱と考えている。
- ・保健所にはPT・OTがいなく、広域センターには事務職のプロはいないので、協力していければよいのではないか。
- ・全国的にうまくいっている広域センターは、地域のニーズをしっかりと把握して、必要なことを協力してやっている。